

3 C区市町村包括補助採択事業 実施経過レポート

令和4年11月
東京都

はじめに

東京都は、「『未来の東京』戦略」（令和3年3月策定）においてその核に据えた**3つのC（Children(子供)、Chōju(長寿)、Community(居場所)）**を推進するため、区市町村による先駆的・分野横断的な事業に対して補助を実施しております。

本資料には、これまでに採択された事業の一部について、その実施状況や効果等を掲載しております。各区市町村におかれましても、**事業の検討・構築や本補助事業の活用**に、**ご活用いただけますと幸いです。**

子育てに全力で取り組む区市町村徹底支援プロジェクト

- ◆ 地域みんなで子供を育てる拠点づくりの実施
【渋谷区 (R3年度新規採択)】 …P4
- ◆ 野外遊び場における新たな子供の仕事体験・居場所づくり推進事業
【国分寺市 (R3年度新規採択)】 …P5

自分らしく暮らせる“Chōju”東京プロジェクト

- ◆ いいね!!シニア“デジ活”共育プロジェクト
【江戸川区 (R3年度新規採択)】 …P6
- ◆ つながり創出による高齢者の健康増進事業
【調布市 (R3年度新規採択)】 …P7

「みんなの居場所」創出プロジェクト

- ◆ 地域で育む日本語学習支援プロジェクト事業
【港区 (R3年度新規採択)】 …P8
- ◆ 私にとっての居場所に出会える「totte」プロジェクト
【日野市 (R3年度新規採択)】 …P9

実施内容（R3年度）

子育てネウボラ施設の開設（妊娠・出産、産後、育児、就学支援の新たな拠点）

- 「渋谷区子育てネウボラ」事業の拠点施設を開設
- 開設準備委託及び大型備品の整備により、魅力ある子育て支援の空間づくりを実施
- 専門性の高い相談機関との連携で切れ目のない子育て支援を実現

※ネウボラ施設：フィンランド語で“相談の場”の意味、
妊娠・出産・子育ての支援拠点



「地域みんなで子供を育てる」子育てひろば

- 専任のコミュニティコーディネーターの専任配置や地域の企業、団体等の協力による事業展開により、子どもを中心とした家族への支援をまちぐるみで実施
- 地域の多世代間交流を図り、コミュニティ醸成の場としても活用



実施の効果

事業目的

すべての子どもとその家族への総合的で切れ目のない支援を高い専門性と地域の力で実現する

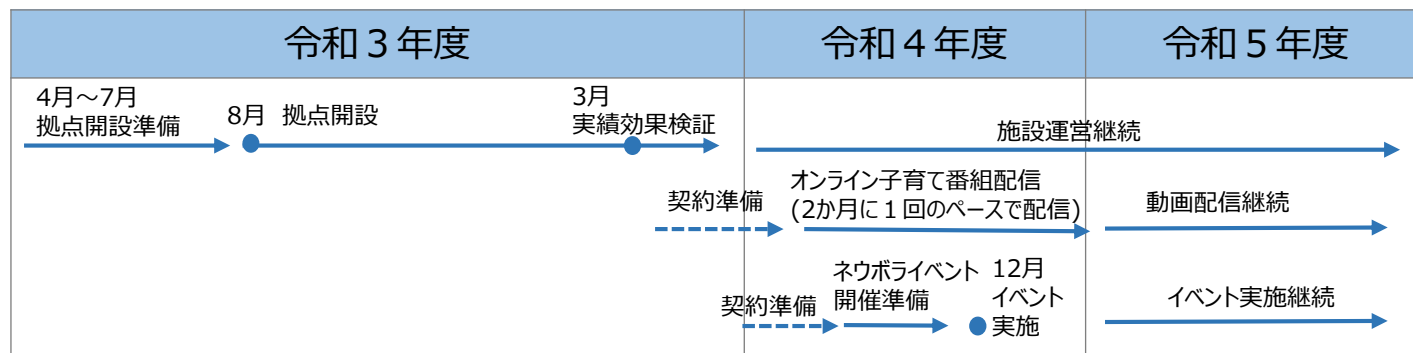
事業効果

魅力ある子育て拠点と地域みんなで子育て世代に寄り添う取組により、子育ての不安や孤独感を軽減

利用者の声

「娘と孫と行きました。赤ちゃんからでも遊べるのでとても楽しそうでした。」
「3歳の娘が『ここすっごくすっごく楽しい～！また来たい！』と言っていました。」
「スタッフの方から声をかけられると孤独感がまぎれ、安心感に包まれます。子連れでご飯を食べるのは一苦労。休憩やごはん、遊び場に困ったらいつも立ち寄っています。」

スケジュール



実施者の声

・補助金を活用することで、子育て世代にとって魅力的な設備導入が実現できました。
・地域交流の一環であるネウボライベントやオンラインを活用した子育て番組配信等、他分野横断的な取組を、10/10の補助率で補助を受けることができたために実現することができました。
(子ども家庭支援センター)

実施内容（R3年度）

野外遊び場に駄菓子屋を開設

- ・ 野外遊び場に駄菓子屋を開設し、約400名の子供たちが仕事を体験
- ・ 駄菓子屋の開設にあたっては、駄菓子屋こども会議を開催し、子供たちが店名や販売するお菓子について意見交換を実施(小学生以上98名が参加)



駄菓子屋の様子

カフェスペースの設置

- ・ 中学生・高校生を主な対象とした「夕暮れカフェ」と、乳幼児親子を主な対象とした「土日カフェ」を設置
- ・ 夕暮れカフェではおやつづくり、線香花火づくりなど多様な活動を実施



夕暮れカフェの様子



土日カフェの様子

野外遊び場の歩道整備

- ・ 乳幼児親子、車いす利用者も遊び場を利用できるようにカフェ・歩道の整備を実施しバリアフリー化

実施の効果

事業目的

- 仕事体験を通じた子供たちの社会参加のきっかけづくり
- 子供や保護者の交流の場や居場所を創出する



事業効果

補助金を活用して既存の公園施設内に駄菓子屋を開設し、仕事体験の場を常設したことで、遊びの機会だけではなく、社会参加について学ぶ機会を創出することができた

参加者の声

「お店で駄菓子を買ったり、ポスターを描いたり今までで一番楽しかった」、「値段の計算をしておつりを出したが超楽しかった」（駄菓子屋）
「双子なので、こんなにのんびりしたことはなかったです！」、「どうぞ、ごゆっくり、という言葉と共に飲み物がトレイで出てきたのがうれしい」（土日カフェ）

スケジュール

令和3年度			令和4年度	令和5年度
契約準備	施設整備, 子供の意見収集	駄菓子屋の運営	駄菓子屋の運営継続	
		夕暮れカフェの運営	夕暮れカフェの運営継続	
		土日カフェの運営	土日カフェの運営継続	

実施者の声

場内のバリアフリー化や駄菓子屋、土日カフェ、夕暮れカフェを運営することで、多世代、家族連れの来場が増えた。また、夕暮れカフェで支援の必要な中・高校生に居場所を提供することができた。

多世代利用に伴う世代間のギャップもあるが、それを乗り越える交流も生み、良い学びになっている。特に父親の参加も増えたことで、子供の遊びへの関心も高まっている。

実施内容（R3年度）

“来庁不要”の区役所を目指し、約40種類の窓口相談業務（介護・年金・住宅等）をオンライン化

- ・福祉拠点や高齢者関係部署でオンライン相談の環境整備
- ・オンライン会議サービスを利用し、オンライン相談を開始（分野：暮らし、地域・町会、福祉・介護、健康に関するオンライン相談等）

AIチャットボットによるスポーツ・文化活動のマッチングシステムの構築

- ・公式LINEアカウントを活用して、AIによるスポーツ・文化活動のウェブサイト公開情報を紹介する機能を追加

地域の福祉系専門学校等と連携したスマホ教室の開催

- ・地域の福祉・介護拠点において、スマホ教室を25回開催
- ・地域の福祉専門学校の学生が参画し、世代間交流を促進



AIチャットボット



LINE相談会

実施の効果

- ・当補助金の活用により、オンライン相談環境やAIチャットボットシステムの整備をスマホ教室と連動して実施することができ、高齢者のデジタル活用環境を一体的に整備することができた。
- ・デジタルデバйд解消に向けた大きな契機とすることができた。



熟年相談室でのスマホ教室の様子

参加者の声

（スマホ教室）
「レシピなど調べられて便利だとわかったのでこれから活用していきたい。」
「できることが増えてよかった。今後少しずつでもなれるように家でも触れて動かすことが大事だとわかった。」
「写真撮影などは本人の活動を増やす一助となる気がする」

スケジュール

令和3年度	令和4年度	令和5年度
システム開発	契約準備	環境整備
広報	AIチャットボットサービス稼働	オンライン相談稼働
専門学生による準備	文化・スポーツのマッチングシステム実装	拡充
スマホ教室の開催	専門学生による準備	アンケート集計・検証
関係者調整	総合人生大学でのタブレット端末活用授業	総合人生大学でのデジタル支援員の育成・地域派遣
		オンライン交流会・運動教室

実施者の声

- ・補助金を契機に、オンライン相談の環境構築を予定より早く進めることができた。（DX推進課）
- ・講師の学生が高齢者に寄り添う姿勢は大変好評で、世代間交流を図ることができた。（福祉推進課）
- ・一人一人に目が届く体制を構築できたため、参加者満足度が高いものとなった。（介護保険課）

実施内容（R3年度）

リアルとオンラインでつながり創出、健康増進を図る

産学官連携体制の構築

- ・市×アフラック×電気通信大学の3者間で協定を締結
- ・定例の事業検討会議を設置し、協議のうえ事業実施

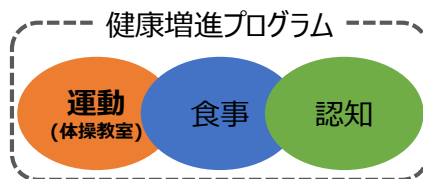
健康増進プログラム

- ・プロのインストラクターによる体操教室をオンラインで実施（深大寺・染地地域で各6回、8名参加）
- ・併せて簡単なゲームを実施し、参加者間の交流を促進
- ・デジタル機器を用いて活動量や脳の健康度のデータ収集

※現在データ分析中



「写真共有ゲーム」の交流イメージ



アンケート

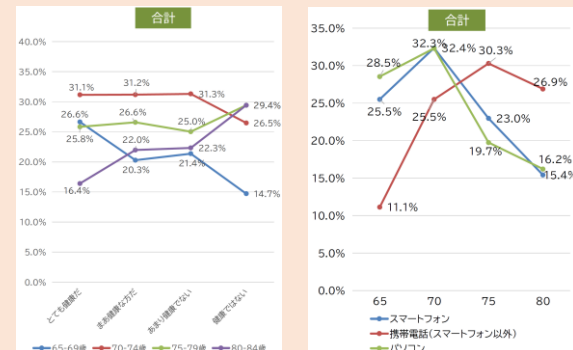
- ・市内高齢者約2,500人に、健康状態・生活習慣・情報通信機器利用等に関するアンケート実施 ➡ R5年度に再度アンケートを実施し、変化を観測

その他

- ・ホームページ開設
- ・リアルとオンラインを融合させた通い場である“デジタルリビングラボ”の設置場所調査

実施の効果

アンケートで健康状態や電子機器の利用状況を把握できた



参加者の声

（オンライン体操教室）

「（Zoomを）やったことで自信がついた。今後は友達から誘われたときにはやってみようと思う。」
 「（体操の）翌日歩くのが楽になり感動した。」
 「コロナの状況でどこかに行かずとも自宅で運動できるのはいいと思うのでお勧めしてもよい。」
 「オンラインでも人と話をすることが重要」

スケジュール

令和3年度	令和4年度	令和5年度
産官学協定締結	会議実施	会議実施
事業の検討会議等	体操教室実施	体操教室実施
健康増進プログラム { 体操教室PR・参加依頼	食事・認知プログラム企画・実施	食事・認知プログラム実施
実施		
アンケートPR・参加依頼	デジタルリビングラボ準備・実施・検証	デジタルリビングラボ実施・検証
契約		
発送・回収・集計		
デジタルリビングラボ調査		
HP開設		

実施者の声

・高齢者の健康増進・フレイル予防には、運動に加えて、食事改善、認知症対策などの身体面の健康増進の取組はもとより、世代の友人との交流や多世代交流などによる精神面の健康増進の取組が重要と考えています。

令和3年度はオンライン健康教室をはじめとする、身体面の健康増進プログラムを中心に実施しました。令和4年度からは、地域内での交流創出による精神面の健康増進プログラムを開始し、本事業の参加者増を目指します。

実施内容（R3年度）

外国人の地域参画を目指した日本語学習支援と受入れ環境整備

外国人向けの日本語学習支援

- ・基礎日本語教室：延82名参加
※一時保育付での実施
※日本語学級、子育て支援施設への情報提供
※生活に関する様々な相談・支援体制の整備
- ・日本語サロン：延456名参加

地域の受入れ環境整備

- ・日本語学習支援ボランティアの育成：38名
- ・「やさしい日本語」の講座・学習支援者のネットワークづくり

外国人と日本人との交流促進事業

- ・外国人と日本人のペア交流を行うマッチング活動
- ・地元大学との連携による交流活動
- ・事業成果発表会
(交流事業の参加者が活動記録を紹介 等)



基礎日本語教室



外国人と日本人のペア交流



外国人と日本人のグループ交流

実施の効果

- ・当補助金の活用により、基礎日本語教室や日本語サロンを拡充、日本語学習支援ボランティアのステップアップを計る講座を実施することができ、「国際都市・港区」としてさらなる活力を生み出すことができた。
- ・日本語サロンの開催により、参加者同士が自発的に集まり、交流を行うといった成果も現れ、今まで地域活動に参加できなかった外国人との新たな交流が生まれた。

参加者の声

（外国人と日本人とのマッチングによる日本語会話の機会提供、パートナー活動）
「日本の生活について、多くのことを学び、細部をより深く理解できた。」
「今のような時代だからこそ、このような人と人がつながり、理解し合える活動が大切だと思う。」
「港区の生活やこどもの日本語の勉強のことなど教えてもらった。交流を続けたい。」



スケジュール

令和3年度	令和4年度	令和5年度
基礎日本語教室・日本語サロン		
	外国人生活支援コーディネーター配置	
日本語学習支援ボランティア育成講座		
「やさしい日本語」の講座・学習支援者の継続的なネットワークづくり		
外国人と日本人との交流促進事業	地元大学との連携による交流活動	事業成果発表会

実施者の声

定員10名の基礎日本語教室に対し、3倍の申し込みがあったが、補助金を活用し、定員を12人にする事でニーズに対応することができたと感じている。
引き続き、補助金を活用しながら、「やさしい日本語」を使った交流事業等を実施することで多文化共生社会の実現をめざしていく。

実施内容（R3年度）

「私にとっての居場所に出会える「totte」プロジェクト」として以下4事業を実施

①誰でも気軽に利用できる居場所づくり

- ・誰でもトイレ修繕・ウッドデッキ増設・子供スペース用備品整備等により、地区センターを誰でも気軽に利用できる居場所に転換
- ・ワークショップ5回開催 → 居場所イメージ図完成
- 意見：子育て・テレワーク・自習・カフェ・くつろぎスペース

地域が必要としている
居場所を各部屋に配置

②未利用地を活用したアウトドアイベント

- ・民間企業等主体で、多摩平地区・高幡台地区の未利用地を活用した実証活動
- 計11回のまちづくり講座を実施し、延べ340人が参加、

【多摩平地区】寄合処ひの
焚火を囲んだミーティングスペースの
設置等を3日間開催し、
延べ92名が利用【高幡台地区】青空アートマーケット
市民参加型の展示やイベントを
開催し、約450名が参加

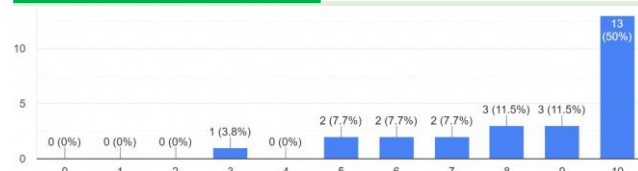
③環境・地域コミュニティ施設を活用

- ・日野市立カワセミハウスで、TVゲームや植物栽培により多世代が交流（約52名）
- ・オンライン環境を整備し、高齢者向けサロンに大学生がオンラインで参加（約6名）

④生涯学習ポータルサイトの充実・更新

- ・生涯学習ポータルサイト「Hi Know」の操作性やアクセスビリティの向上、新機能の増設

実施の効果



寄合処ひへの高評価

内訳	令和元年度 閲覧数	令和2年度 閲覧数	令和3年度 閲覧数
トップページ	31,201 件	469,409 件	551,975 件
団体アクセス数	67,325 件	67,948 件	75,285 件
イベントアクセス数	96,465 件	155,448 件	236,620 件
まち記者取材記アクセス数	72,204 件	101,655 件	115,705 件

生涯学習ポータルサイト「Hi Know」閲覧数増加

参加者の声

（寄合処ひの）
「知らない方と火を囲んでゆっくりお話しができる」
「自然の環境がある中で仕事をしてみたい」
（青空アートマーケット）
「若い団地住民との新たな接点が生まれた」
「空きスペースを交流の場として活用できることを認識できた」

スケジュール

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
①	説明会 → 居場所づくりWS → 誰でもトイレ修繕工事等	地域イベント実施 → 内装修繕	正式オープン・地域イベント実施
②	契約・準備 → 新しい居場所づくり に向けたWS → 寄合処ひの事業実施 → 青空マーケット 開催	プログラムを実施・自立化検討 → イベント等プレ 実施	プログラムを実施・自立化試行
③	カワセミハウス整備	カワセミハウス整備	イベント・講座等を実施
④	HP充実・更新	追加コンテンツの企画・検討	改良・運用開始

実施者の声

・生涯学習ポータルサイトとして、機能が強化され、さまざまな発信ができるようになった。さらに、訪問者増を図りたい（HiKnow担当・生涯学習課）
・複数の分野が居場所という共通のテーマを基に事業展開をすることができた。また、居場所づくりや市民参加型イベントを行う中で現役世代やプレシニア層など多様な市民が参加し、コミュニティにおける新たな担い手を発掘することができた。（企画経営課）